

赤磐市東京2020オリンピック 国内キャンプ誘致実行委員会だより Vol.1



5月9日 ニュージーランド大使館訪問
左から
友實武則 赤磐市長
ペイトン 駐日ニュージーランド大使
逢沢一郎 衆議院議員
平尾 豊 岡山県ホッケー協会理事長



5月20日 キーンズタウン 空港
ニュージーランドホッケー協会
CEO イアン氏(左)に
赤磐市来市を要請

岡山県赤磐市

赤磐市東京2020オリンピック国内キャンプ誘致実行委員会

設置目的

スポーツによる赤磐市の活性化

東京2020オリンピックの開催を契機にホッケーチームのキャンプを誘致

I 設置

☆背景

- ①国際的なホッケー競技が可能な環境(人工芝ピッチ)
- ②本市の観光資源や文化資源の有効活用

☆方針

- ①国際国内トップレベルの大会の誘致と赤磐市のPR
- ②トップアスリートとの交流によるスポーツ熱の高揚

☆機能

- ①施策の実効性の確保
- ②企画立案と事業の牽引
- ③オール赤磐で臨む推進組織の確立

☆効果

- ①歴史的文化的価値の発信、並びに国際交流、国際理解促進
- ②第2次赤磐市総合計画、赤磐市スポーツ推進計画等の達成

II 運営

☆組織

①実行委員会

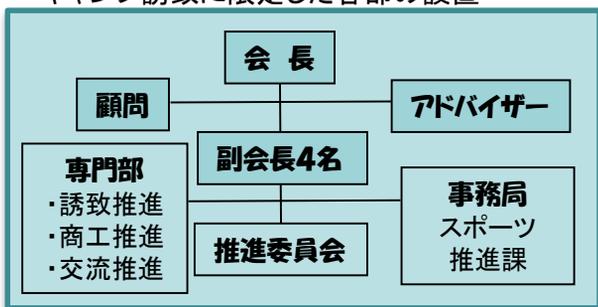
- ・2回/年の開催、市全体の一体感の醸成
- ・推進委員会原案の確認と審議

②推進委員会

- ・目的達成への企画・立案

③専門部

- ・キャンプ誘致に限定した各部の設置



☆主な事業内容

①事前キャンプ誘致

- ・種目：ホッケー競技 女子
- ・対象国：ニュージーランド
- ・各種大会の誘致



②多目的グラウンドの有効活用

- ・国内・国際のトップレベル大会の誘致
- ・ホッケーを通じた交流活動

③今後の交渉計画

- ・環太平洋大学との連携
- ・ニュージーランドホッケー協会との交渉



広報・啓発の充実

III スケジュール

平成28年	平成29年 リオ・オリンピック	平成30年	平成31年	平成32年 東京オリンピック	平成33年
		運動公園 改修・整備			
		全日本 ホッケー	事前キャンプ	直前キャンプ	多目的グラウンド活用
広報・啓発					
第2次赤磐市総合計画(基本計画 前期 5年間) 赤磐市スポーツ推進計画(H27~H31年)				第2次赤磐市総合計画 (基本計画 後期~H36年)	